

分担研究報告 「妊婦抗体スクリーニング体制の整備」

研究分担者： 木下勝之（日本産婦人科医会副会長）
田中政信（日本産婦人科医会常務理事）

研究協力者： 木下班：神谷直樹（日本産婦人科医会常務理事）、宮崎亮一郎（日本産婦人科医会常務理事）、五味淵秀人（日本産婦人科医会幹事長）、栗林 靖（日本産婦人科医会副幹事長）
田中班：中井章人（日本産婦人科医会常務理事）、塚原優己（日本産婦人科医会副幹事長）、鈴木俊治（日本産婦人科医会幹事）、松田秀雄（日本産婦人科医会幹事）

【研究要旨】

全国の分娩取扱 2642 施設に HTLV-1 抗体検査および児への栄養法について行ったアンケート調査の解析を、HTLV-1 感染流行地である九州と九州以外において比較検討した。九州および九州以外の地域の HTLV-1 陽性率に有意差を認め、日本の HTLV-1 キャリア妊婦の約半数は九州在住であることが推定された（820 人/1620 人）。また、九州および九州以外の地域における HTLV-1 確認検査判定保留者への対応にも違いを認めた。流行地と非流行地では、確認検査の陽性率および確認検査判定保留者への対応に差が認められた。流行地のほうが、確認検査判定保留者に対してより慎重な対応がなされていた。

A. 研究目的

妊婦健診で公費負担化された HTLV-1 抗体検査について、確認検査で陽性あるいは判定保留と診断された妊婦に対し、児への栄養法の違いによる感染の差について検討する。

B. 研究方法

日本産婦人科医会で把握している全国の分娩取扱 2642 施設に HTLV-1 抗体検査および児への栄養法について行ったアンケート

調査の結果を、HTLV-1 感染流行地である九州と九州以外において比較検討した。

C. 研究結果

表 1 に示したように、九州および九州以外の地域における HTLV-1 陽性率に違いを認めた。確認検査（WB テスト）を実施した妊婦数は、九州以外の地方が約 2 倍と有意に多かったが、WB テスト陽性率は九州地方のほうが有意に高く（74.6 vs. 37.4%）WB テスト陽性者はほぼ同数であった。以

上より、日本の HTLV-1 キャリア妊婦の約半数は九州在住であることが推定された（820人/1620人）。

表 2 に示したように、九州および九州以外の地域における HTLV-1 判定保留者への対応に違いを認めた。九州地方では、約 8 割の判定保留者に対して PCR テストを実施もしくは陽性者と同様の対応を行っていた。一方、九州以外の地域では約半数にしか同様の対応をしておらず、約 4 割の妊婦に陰性者と同様に母乳を推奨していた。

D. 考察

流行地と非流行地では、確認検査の陽性率に有意差を認めた。そのためか確認検査判定保留者への対応にも差が認められた。流行地のほうが、確認検査判定保留者に対してより慎重な対応がなされていた。

E. 結論

HTLV-1 スクリーニング陽性妊婦に対する確認検査の実施、確認試験判定保留者に

対する指導方法を徹底させる必要がある。

これらへの対応のため、本年度はリーフレット「HTLV-1 の母子感染を予防しよう」を作成し、HTLV-1 母子感染予防に関する啓発を行った

F. 健康危険情報

なし

G. 研究発表

論文発表

Suzuki S, Tanaka M, Matsuda H, Tsukahara Y, Kuribayashi Y, Gomibuchi H, Miyazaki R, Kamiya N, Nakai A, Kinoshita K. Instruction of feeding methods to Japanese pregnant women who cannot be confirmed as HTLV-1 carrier by western blot test. J Matern Fetal Neonatal Med. 2013 Oct 24 [Epub ahead of print.]

H. 知的財産権の出願・登録状況

なし

表 1 . 九州および九州以外の地域における HTLV-1 陽性率および推定キャリア数の違い

	総数	(%/%)	九州地方	(%/%)	九州以外	(%/%)
2011年の分娩数	1,013,500		138,000		875,500	
スクリーニング検査						
総数	707,711	(100)	102,373	(100)	605,338	(100)
陽性数	2,259	(0.32)	811	(0.79)	1,448	(0.24)
WB検査						
総数	1,894	(0.27/100)	629	(0.61/100)	1,265	(0.21/100)
陽性数	942	(0.13/49.7)	469	(0.46/74.6)	473	(0.08/37.4)
陰性数	660	(0.09/34.8)	88	(0.09/14)	572	(0.09/45.2)
判定保留数	212	(0.03/11.2)	44	(0.04/7.0)	168	(0.03/13.3)
PCRテスト						
総数	65	(0.009/100)	12	(0.012/100)	53	(0.009/100)
陽性数	21	(0.003/32.3)	7	(0.007/58.3)	14	(0.004/26.4)
陰性数	40	(0.006/61.5)	3	(0.003/25.0)	37	(0.008/69.8)
キャリア妊婦数	1,620		820		800	

WB test, western blot test; PCR test, polymerase chain reaction test.

表2 九州および九州以外の地域における WB テスト判定保留例への対応の違い

	総数	九州地方	九州以外	P-値
総数	226	56	170	
PCRテスト実施	82 (36%)	31 (55%)	51 (30%)	< 0.01
陽性に準じた対応	47 (21%)	15 (27%)	32 (19%)	0.20
母乳を推奨(陰性に準じた対応)	78 (35%)	5 (8.9%)	74 (44%)	< 0.01
不明	14 (6.2%)	3 (5.4%)	11 (6.5%)	0.76

